

科目名 看護学概論 時間割表記名 看護学概論	配当時期 1年次前期 単位数 1単位 時間数 30時間(15回)	講義担当者 石井美香子 (実務経験のある教員)	
事前学習内容 講義に必要なテキストを熟読する。			
授業目標 1. 看護の本質、看護の役割と機能、看護の歴史について理解できる。 2. 看護の対象としての人間、生活と健康、環境について理解できる。 3. 看護活動の場、保健医療福祉の連携について理解する。 4. 看護理論について理解できる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。 DP6. 専門職業人としての責任を自覚し、広い視野にたつて物事を考え、自己研鑽することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	看護とは	講義・グループワーク	テキスト①
2	1)看護の本質、目標、役割、機能 2)看護の対象とは 3)看護技術とは何か 4)看護を展開するための法的根拠		
3	看護の主要概念(看護の対象である人間)	講義	テキスト①
4	看護の主要概念(人を取り巻く環境)	講義	テキスト①
5	看護の主要概念(健康)	講義	テキスト①
6	看護の主要概念(看護)	講義・グループワーク	テキスト①
7			
8	看護の歴史的変遷、看護教育の歴史的変遷と現代の看護教育 *発表	グループワーク・発表	テキスト① テキスト⑤
9	看護の実践方法	講義 グループワーク	テキスト①
10	1)看護活動の特性 2)看護実践の方法としての看護過程 3)看護過程の構成要素 4)看護過程の展開と看護師の責任 5)看護理論とは、 6)中範囲理論		

11	看護における倫理 1)看護の倫理原則 2)看護者の倫理綱領 3)事例検討	講義 グループワーク	テキスト①
12 13 14	1. 看護理論家の理解 1)ナイチンゲール 2)カリスタ・ロイ 3)ヒルデガード・ペプロウ 4)ヴァージニア・ヘンダーソン 5)ドロセア E・オレム	講義 グループ発表	テキスト①②③④ * 12 回目は 45 分
15	1. 看護の提供者 1)職業としての看護 2. 看護の提供のしくみ 1)医療施設における看護 2)地域における看護 3. 保健・医療・福祉の相互連携と看護職の役割 1)多様化する活動の場、多職種間との連携 4. 今後の医療・看護に求められていること	講義	テキスト①
16	筆記試験(45分)	筆記試験	
<p>受講上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業内容により適宜課題を課すことがある。 ○授業では看護事例や DVD を視聴し、ディスカッションを通しながら理解する。 ○看護理論家については、グループワーク、発表会を通して理解する。 ○看護の歴史的変遷、看護教育の歴史的変遷はグループワーク、発表会を通して理解する。 			<p>評価方法</p> <p>筆記試験 レポート (ルーブリック)</p>
<p>使用するテキスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新体系 看護学全書 基礎看護学①看護学概論 メジカルフレンド社 ② 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1] 看護学概論 医学書院 ③ 看護覚え書き 現代社 ④ 看護の基本となるもの 日本看護協会出版会 ⑤ ケースを通して やさしく学ぶ看護理論 日総研 ⑥ 看護リフレクション入門 ライフサポート社 <p>参考文献</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 中範囲理論入門ー事例を通してやさしく学ぶ 日総研 ② 超入門 事例で学ぶ看護理論 学研 ③ 国民衛生の動向 財団法人厚生統計協会 			